

(10) 公園

①現状と課題

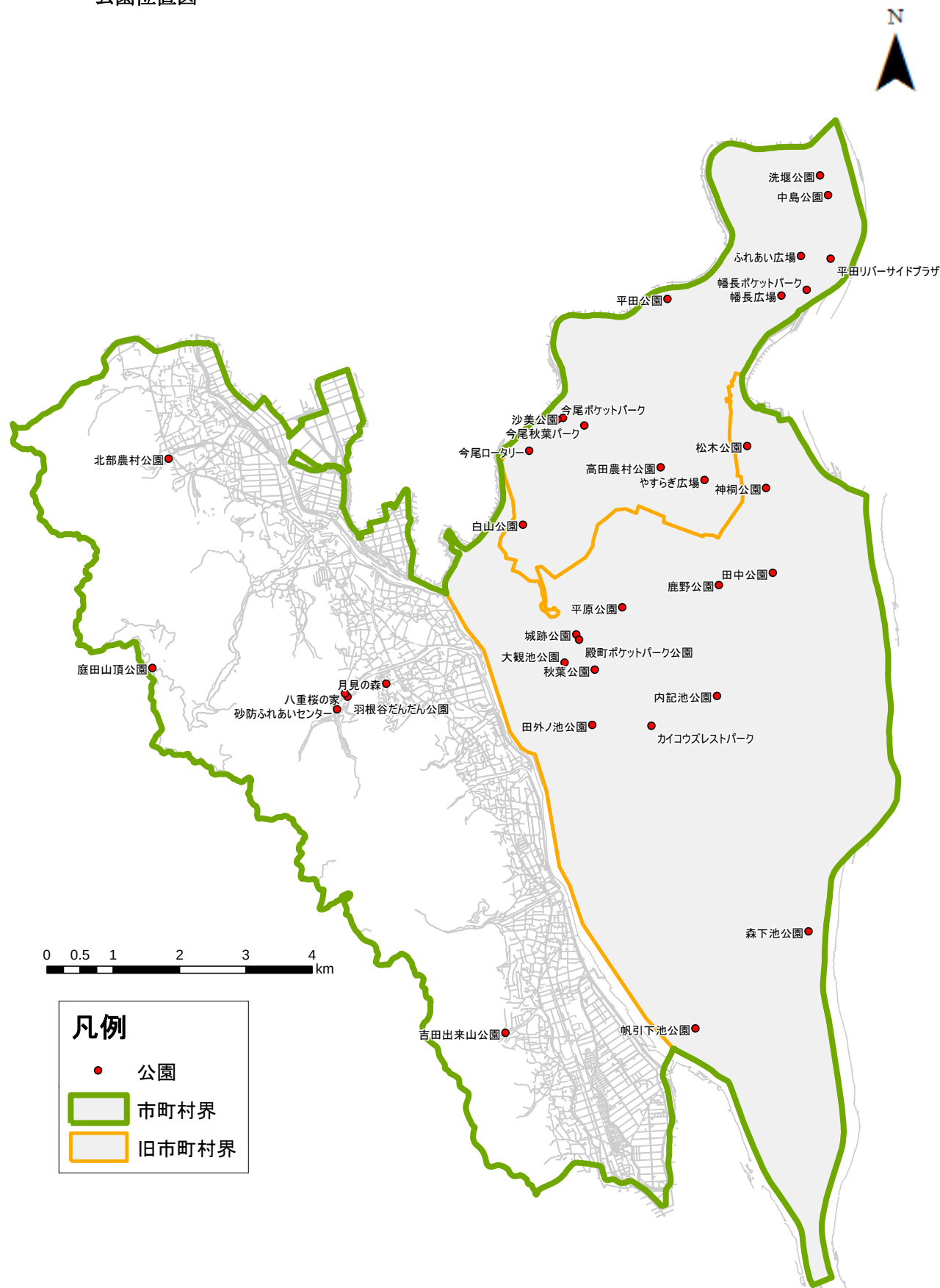
<施設概要>

No	施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	運営形態	配置形態	防災拠点	耐震化
1	平田公園	1	2	1,003.00	1996	19	指定管理	併設施設	-	新耐震
2	八重桜の家	1	1	74.80	1995	20	直営	単独施設	-	新耐震
3	砂防ふれあいセンター	1	1	251.20	1999	16	直営	単独施設	-	新耐震
4	羽根谷だんだん公園	1	1	8.64	不明		直営	単独施設	-	不明
5	月見の森	1	1	99.38	1996	19	直営	単独施設	-	新耐震
	その他公園等	30	2	不明	不明	不明	※	-	-	-
	合計	35	8	1,437.02						

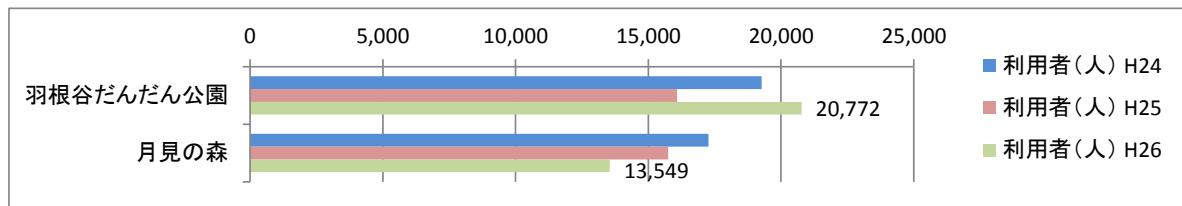
※:平田リバーサイドプラザは指定管理、その他の公園は直営

- ・公園は35施設あります。建築物（棟）は大部分が新耐震施設です。
- ・市の中央部から北部にかけて多く位置しています。
- ・運営形態は「平田公園」と「平田リバーサイドプラザ」が指定管理者となっています。

公園位置図



＜施設利用状況等＞



- ・施設利用者は「羽根谷だんだん公園」は年間2万人前後、「月見の森」は減少傾向にあり平成26年（2014）で約14,000人となっています。

②今後の方針

- ・公園については「平田公園」と「平田リバーサイドプラザ」が指定管理者となっていますが、その他の公園についても、経費の節減、管理運営の効率化とサービスの質の向上のため指定管理者制度を検討していきます。
- ・将来の人口動向を注視しつつ適正な規模・必要性を検討していきます。
- ・必要な施設は公園施設の長寿命化を検討していきます。
- ・公園の美化等住民参加による適切な公園の管理を検討していきます。

(1 1) 供給処理施設

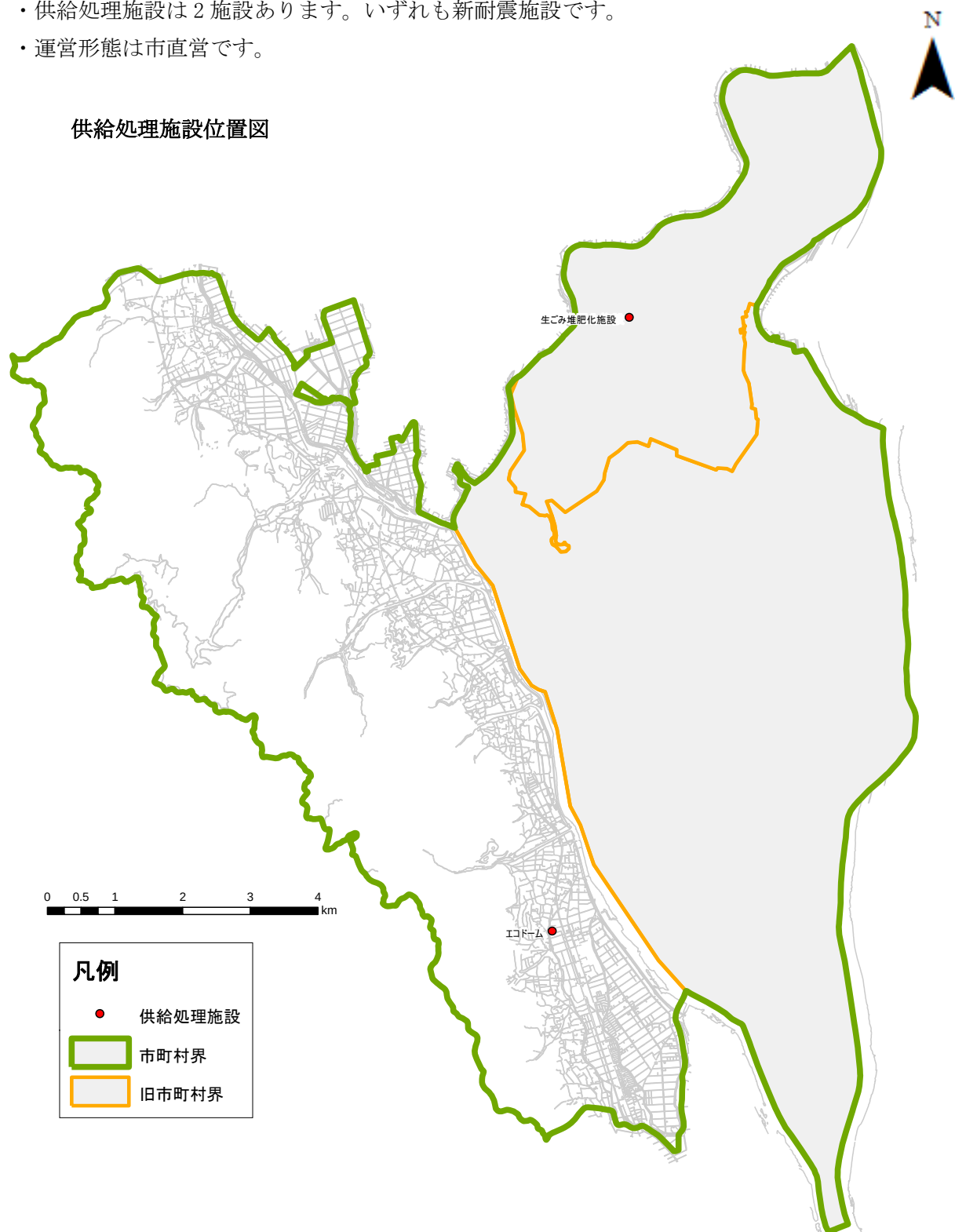
①現状と課題

<施設概要>

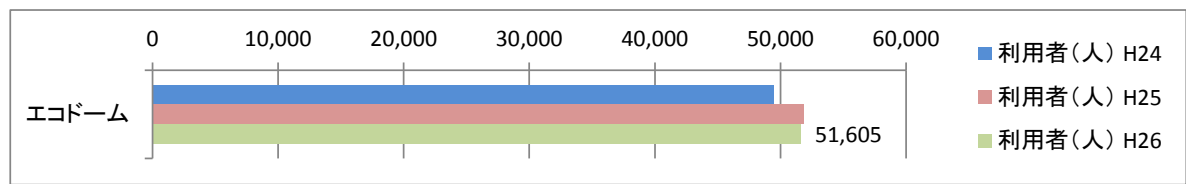
No	施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	運営形態	配置形態	防災拠点	耐震化
1	エコドーム	1	2	544.06	2008	7	直営	併設施設	－	新耐震
2	生ごみ堆肥化施設	1	1	105.31	2004	11	直営	単独施設	－	新耐震
	合計	2	3	649.37						

- ・供給処理施設は2施設あります。いずれも新耐震施設です。
- ・運営形態は市直営です。

供給処理施設位置図



＜施設利用状況等＞



- ・施設（エコドーム）の利用状況は平成 26 年（2014）で約 52,000 人となっており、微増傾向にあります。

②今後の方針

- ・生ごみ堆肥化施設については、施設整備後 12 年が経過しており、設備の老朽化が進んでいます。設備の維持費用が増大していることもあり、費用対効果の観点から今後の存続について慎重に検討を進めていきます。
- ・エコドームについては、循環型社会の推進の観点からも今後も拠点施設としての役割が期待されます。利用者数も微増傾向にありますが更なる利用促進を図るため、普及啓発に努めていきます。

(1 2) その他施設

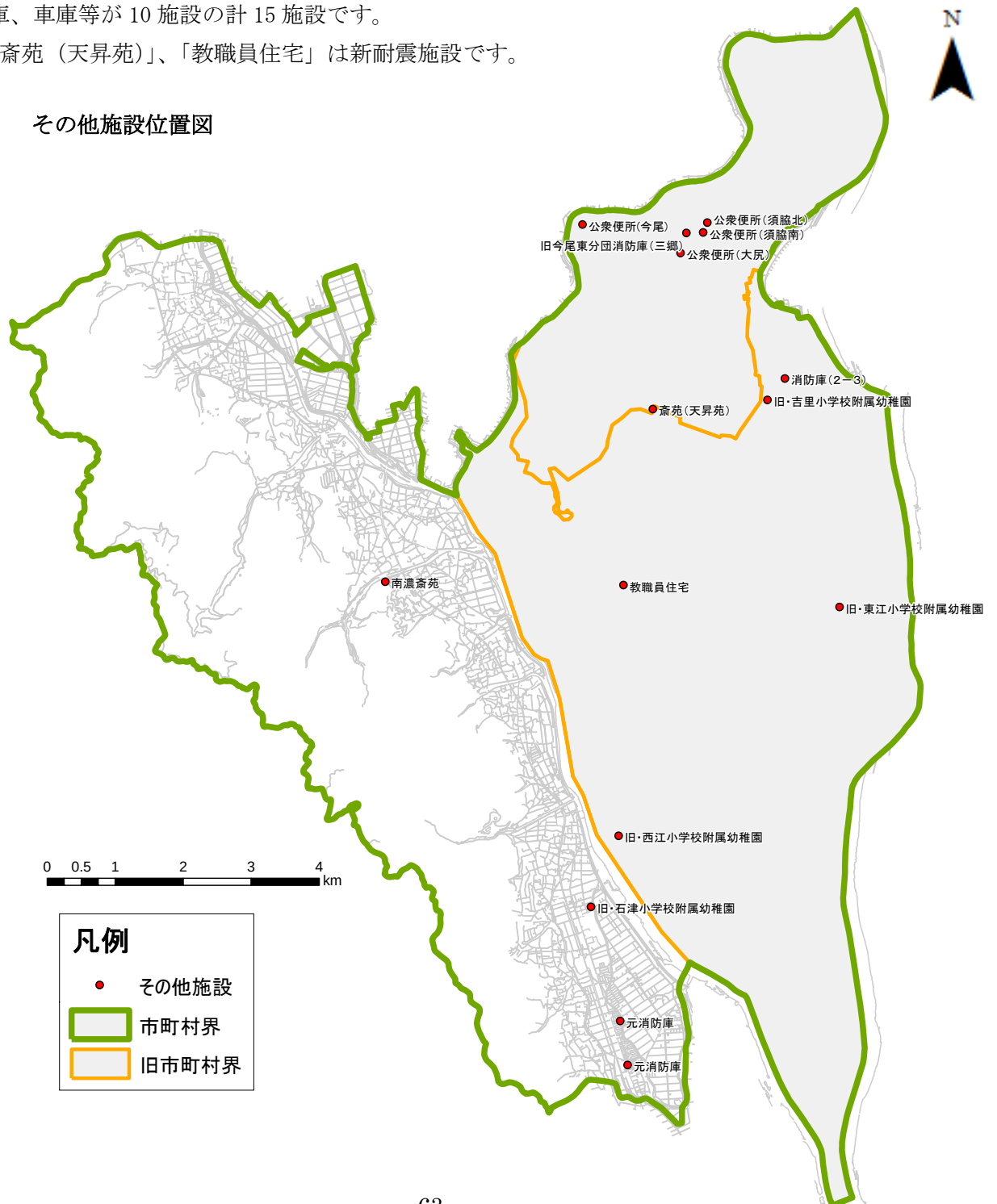
①現状と課題

<施設概要>

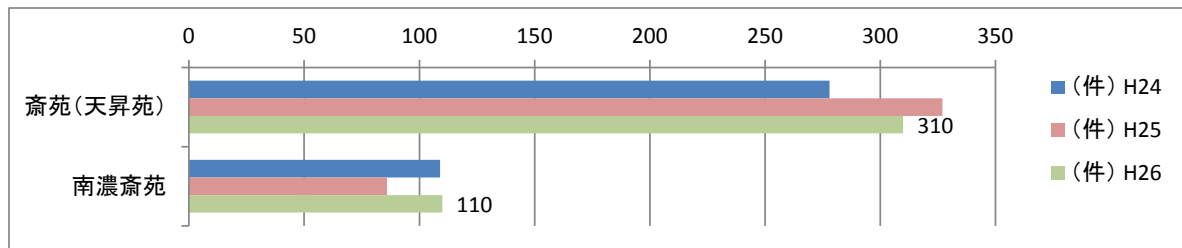
No	施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	運営形態	配置形態	防災拠点	耐震化
1	教職員住宅	1	1	596.63	1990	25	直営	単独施設	-	新耐震
2	斎苑(天昇苑)	1	1	2,282.02	1988	27	直営	単独施設	-	新耐震
3	南濃斎苑	1	1	824.60	1977	38	直営	単独施設	-	未実施
	公衆便所	4	4	220.46	1985～ 1999	30～16	直営	単独施設	-	新耐震
	その他施設(倉庫・車庫等)	8	8	2,147.36	1976～ 1998	39～17	直営	単独施設	-	未実施/ 新耐震
	合計	15	15	6,071.07						

- ・その他施設としては「斎苑」2施設、「教職員住宅」が1施設、公衆便所が4施設、その他倉庫、車庫等が10施設の計15施設です。
- ・「斎苑(天昇苑)」、「教職員住宅」は新耐震施設です。

その他施設位置図



＜施設利用状況等＞



- ・斎苑の火葬は「斎苑（天昇苑）」で300件前後（動物火葬除く）、「南濃斎苑」で100件前後となっています。

②今後の方針

- ・教職員住宅は基本的に存続を図っていくものとします。
- ・同種の施設は、施設の老朽度、地域性、市民ニーズ、必要性等を踏まえ、周辺の施設との集約化・多機能化、用途転用等を検討していきます。
- ・将来需要に見合った適正規模を確保していきます。

3-2 インフラ系施設

(1) 上水道施設

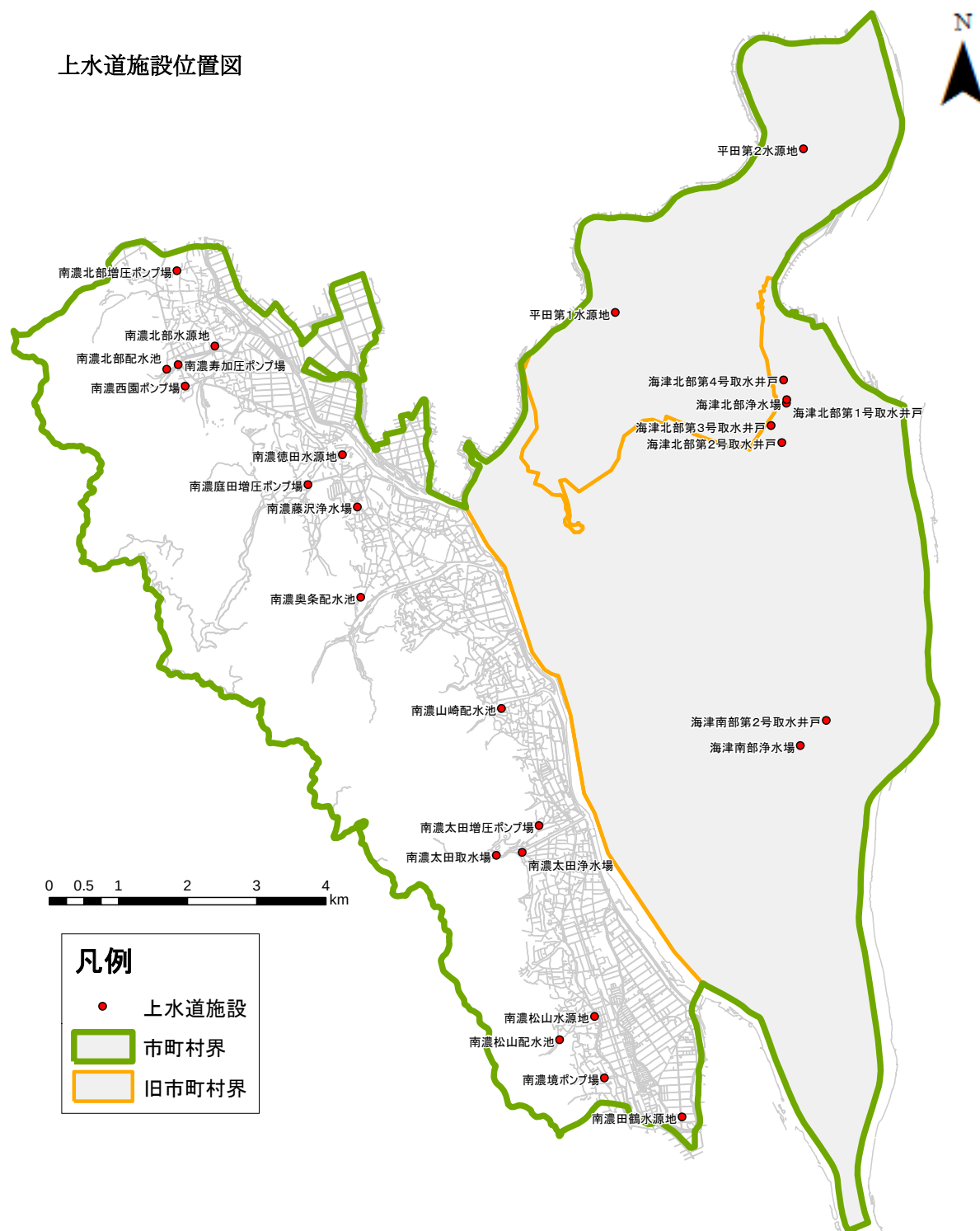
①現状と課題

<施設概要>

No	施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	運営形態	配置形態	防災拠点	耐震化
	浄水場・配水池・水源地等	26	57	5,830.72	1962～ 2010	53～5	直営	単独施設 併設施設	-	新耐震/ 不要

・上水道施設としては浄水場・配水池・水源地等計 26 施設あります。大部分が新耐震施設です。

上水道施設位置図



②今後の方針

- ・上水道施設はその必要性等から基本的に存続を図っていくものとします。
- ・将来需要に見合った適正規模を確保していきます。
- ・施設や管路は計画的に更新を図っていきます。

(2) 下水道施設

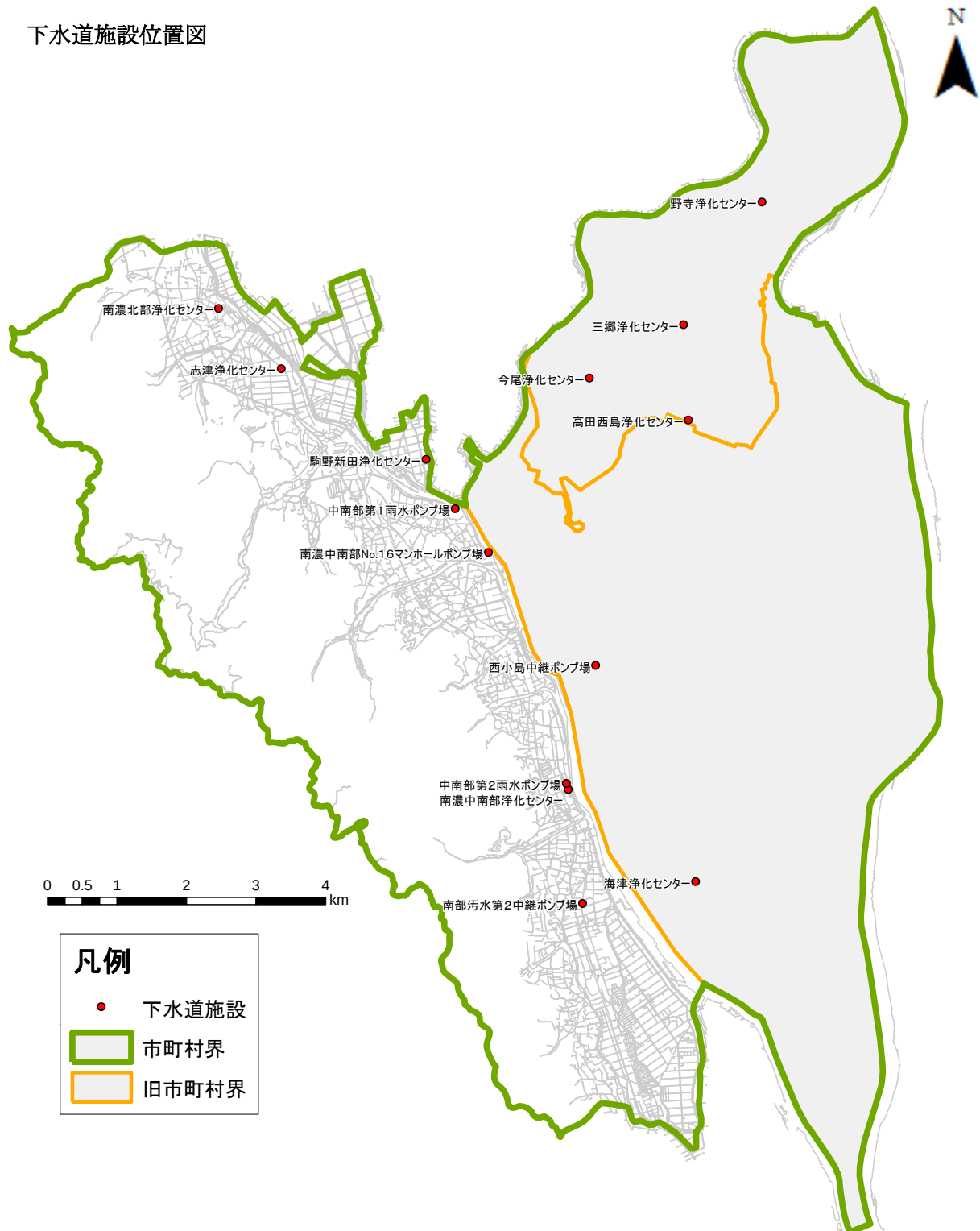
①現状と課題

<施設概要>

No	施設	施設数	棟数	延床面積 (㎡)	建築 年度	経過 年数	運営形態	配置形態	防災拠点	耐震化
	浄化センター・ポンプ場等	14	28	8,510.59	1989～ 2009	26～6	直営	単独施設 併設施設	-	新耐震

- ・下水道施設としては浄化センター・ポンプ場等計 14 施設あります。すべて新耐震施設です。

下水道施設位置図



②今後の方針

- ・下水道施設はその必要性等から基本的に存続を図っていくものとします。
- ・施設や管路は計画的に更新し、長寿命化を図っていきます。



海津市公共施設等総合管理計画

平成 27 年 12 月

海津市総務部企画財政課

〒503-0695 海津市海津町高須 515 番地

TEL : 0584-53-1111 (代表)

<http://www.city.kaizu.lg.jp/>